

日中交流二千年

アジアをつなぐ
美と精神

【跨越両国の审美：日本与中国漢唐時期文化交流】

- 会期 2022年9月24日～12月4日
- 会場 清華大学芸術博物館（中国・北京）



「日中交流二千年 アジアをつなぐ美と精神」展
記念シンポジウム

先着
500名様
無料ご招待

2023年2月2日(木)

開場 13:15 開会 14:00～16:00(終了予定)

会場：有楽町朝日ホール(東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町マリオン11階)

※ 新型コロナウイルス感染症の状況等により、開催方法や定員等の変更を行う場合がございます。
変更があった場合は、裏面に記載の参加申し込み用サイトにてお知らせいたします。

奈良県は、日中国交正常化50周年の節目にあたる2022年秋、友好提携を結んだ中華人民共和国・清華大学と共同で、日中交流の長い歴史をテーマとした展覧会を北京の同大学芸術博物館で開催しました。

本展では、奈良県立橿原考古学研究所が保管する県内出土の考古資料を中心に、日中交流の歴史を物語る作品108件、中国国内からは遣唐使などの古代日本にゆかりのある文物67件を出陳。高松塚古墳壁画や法隆寺金堂壁画を復元した高精細複製陶板を公開しました。両国の歩みの中で重要な位置を占めてきた奈良の魅力を再認識、新発見できる展覧会として大好評を頂きました。

この記念シンポジウムでは、本展の開催を通じて得られた知見や文化交流の成果について、奈良県知事はじめ、本展を企画した日中の関係者に語り合っていただきます。



主催 奈良県

裏面の申し込み方法をご覧ください

1 主催者挨拶 (10分)

奈良県知事 中国側主催者
荒井 正吾 *VTR放映(日本語字幕付き)



2 来賓挨拶 (5分)

在日本国中華人民共和国大使館
公使参事官(文化担当)
陳 諍 氏

3 展覧会成果報告 (25分)

奈良県立橿原考古学研究所主任研究員
坂 靖



4 基調講演 (20分)

清華大学教授/清華大学芸術博物館常務副館長
杜 鵬飛 氏 *VTR放映(日本語字幕付き)



5 パネルディスカッション (30分)
テーマ:
『日中交流の原点を探る』

奈良県知事 奈良県立橿原考古学研究所所長/
荒井 正吾 元文化庁長官 *ファンリテーター
青柳 正規
奈良県学芸政策顧問/
京都大学名誉教授
根立 研介



※ プログラム及び出演者は予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

Access



有楽町朝日ホール

〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-5-1
有楽町マリオン11階
URL <https://www.asahi-hall.jp/yurakucho/>



- 下車駅
●JR(山手線・京浜東北線)有楽町駅
中央口または銀座口
●東京メトロ(丸ノ内線・銀座線・日比谷線)銀座駅 C4出口
●東京メトロ(有楽町線)有楽町駅 D7出口
いずれも徒歩1~2分
- ホール入り口
映画館子ゲット発券機横のエレベーターで11階までお越しください

参加申し込み方法

この「記念シンポジウム」に先着500名様をご招待(無料)いたします。ご希望の方は下記①、②のいずれかの方法でお申し込みください。

① サイトから申し込む

<https://sendnavi.noc-net.co.jp/nocqs/user/?sid=49&qid=fdc9a53843de36663660281b77edbb53>



スマートフォン、タブレットをご利用の方▶

② 郵便はがきで申し込む

宛先：〒135-0061 東京都江東区豊洲5-6-36
豊洲プライムスクエア4F NOC内
「日中交流二千年」展 記念シンポジウム 係

ご記入事項：

- 参加者人数(ご本人を含め2名様まで)
- 申込者の郵便番号、住所、お名前(参加者全員)、電話番号、メールアドレス

- 申込締切：2023年1月16日(月)※定員となり次第締め切ります。
- 当選通知：2023年1月20日(予定)までに参加証を郵送いたします。

※取得した個人情報はこの記念シンポジウムに関してのみ利用し、記念シンポジウム終了後はただちに消去いたします。

!! 皆様のご応募をお待ちしています!!